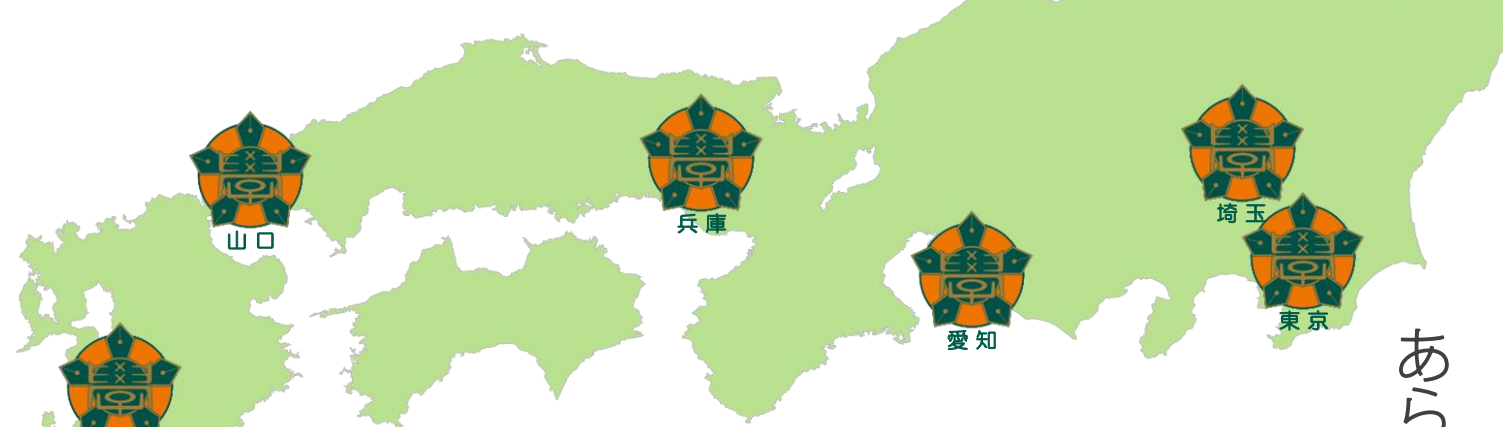




全国のおとなの学校

デイサービス

南青山校	東京都港区 定員20人/日
世田谷経堂校	東京都世田谷区 定員20人/日
世田谷等々力校	東京都世田谷区 定員15人/日
南巽校	大阪府大阪市 定員10人/日
下関小月校	山口県下関市 定員10人/日
花園校	熊本県熊本市 定員15人/日
天保山橋校	鹿児島県鹿児島市 定員10人/日

デイケア

本校	熊本県熊本市 定員50名/日
塩屋校	兵庫県赤穂市 定員30名/日

介護老人
保健施設

本校	熊本県熊本市 120床
西尾校	愛知県西尾市 36床

介護付き
有料老人ホーム

北加賀屋校	大阪府大阪市 54戸
-------	---------------

特別養護
老人ホーム

八角堂校	熊本県熊本市 入所29人
------	-----------------

病院

ファイン校	熊本県熊本市 回復期リハ 42床
-------	---------------------

あらゆる地域・形態で実績があります。



おとなの学校を
始めませんか
?

おとなの学校のノウハウが皆さまのお手元に――

おとなの学校 メソッド

<http://otona-gakkou.com/method/>

おとなの学校のノウハウを詰め込んだ
教科書が毎月お手元に届きます。

さらに学校らしく！ 明るい雰囲気をお求めの場合は――



おとなの学校 フランチャイズ

<http://otona-gakkou.com/>

1日の流れから黒板まで、雰囲気が
「まるごと」おとなの学校になります。

お問合せ先

株式会社 おとなの学校

<http://www.otona-gakkou.com>

TEL

0120-125253

【受付時間】
8:30～17:30
(年中無休)

FAX

03(5643)6008



病院

入所
施設

通所
サービス

高齢者
住宅

コミュニティ
カフェ

あらゆる場所でお役に立ちます。



おとなの学校ってどんなところ？

黒板がある。時間割がある。制服がある。
「おめでとう」と「ありがとう」の毎日に“意欲”が高まる。
「おとなの学校」は、その名の通り“学校”です。“学び”の時間でいっぱいです。



特徴01「教室という空間」

「おとなの学校」に入って目に飛び込んでくるのは、黒板やチョーク、時間割。どこか懐かしい空間でチャイムが聞こえてくると、皆さんの背筋が伸びてきます。この中で、国語や算数をはじめとする“授業”という形で皆さまへの機能訓練や脳リハビリのサービスが提供されていきます。授業の内容は、すべてのお客さまが積極的に話したくなるように工夫されています。

国語

「百人一首」「季節の言葉」
「教育勅語」「漢字遊び」など

社会

「自分史」「化粧の歴史」
「地下鉄」「東京都を知る」など

理科

「氷の不思議」「柑橘くだもの」
「バター作り」「染色」など

音楽

「歌詞から学ぶ」「ハンドベル」
「映画音楽の魅力」など

体育

おとなの学校が独自に開発したプログラムにより
リズムに乗って身体機能を高める事ができます。

特徴02「学びの喜び」

おとなの学校の毎日の授業のほかに、ご利用開始日には“入学式”、半年に1度、皆さんの努力の成果を発表し通知表を受け取る“成果発表会”、入所施設では“卒業式”という晴れ舞台も用意されています。ちょっとした緊張感と、同級生やご家族から寄せられる拍手に涙される方も少なくありません。これこそ、おとなの学校の醍醐味を感じられる瞬間です。

成果発表会

国語	算数	体育	音楽
甲	甲	甲	甲
乙	乙	乙	乙
丙	丙	丙	丙
丁	丁	丁	丁

お客さまの“できる”を大切にします

おとなの学校では、お客さまが今できる事をさせていただきます。そして、同級生に触れ合ううちに“ひょっとしたら、できるかも・・・”が増えていきます。

「お父さん、こんな事ができたんだね」
「最近やらなくなった裁縫を
また始めた姿を見られて嬉しい」
成果発表会では、ご家族のこんな声がよく聞かれます。



特徴03「仲間たち」

「おとなの学校」で出会う“先生”と“同級生”は、互いに安心を生む仲間であるだけでなく、時に高め合う仲間でもあります。日々の授業の中で、“先生”の励ましの声や“同級生”の「できた！」という声によって、高齢者が最後まで諦めずに取り組む姿が見られます。



おとなの学校の1日

学校にあるのは規則正しい生活。
“チャイム”が鳴ると、教室に足が向く。
規律ある1日は、高齢者の意欲を高めます。

デイサービスの 場合



おとなの学校の
様々な効果は
様々な方面からの
「声」に現れています。

母が台所で
「手伝おうか？」と
言ってくれるように
なりました。
ご利用者のご家族/東京都

人手がかからず
効率的で効果的な
施設運営を
実現できました。

経営者/兵庫県

認知症の
お客さまが
スタッフの名前を
覚えてくれるんです。
スタッフ/鹿児島県

皆さまは
本当に認知症
なんですか？
と驚きました。
ケアマネジャー/東京都

おとなの学校で
働くことを通して
スタッフが本当に
成長しました。

経営者/鹿児島県

1日の流れ【デイサービスでの例】

10:00	登校（送迎）
10:30	朝礼
11:00	1時間目 算数 そろばん
11:30	休憩
12:00	2時間目 家庭科 調理実習
13:30	休憩
14:00	3時間目 社会 「皇太子ご結婚」
14:30	休憩
15:00	4時間目 音楽 「歌詞ならべ」
15:30	休憩・おやつ
16:30	5時間目 学級活動
17:00	終礼 下校（送迎）

“学び”
で
元気になる

高齢者も介護士も元気になる 介護老人保健施設「おとなの学校」

「施設を学校に」 高齢者を元気にする発想転換

熊本県を拠点とする医療法人社団大浦会は、介護老人保健施設の運営や在宅サービスなどを行なっている。

中でも特徴的なのが、「介護しない介護が人を元気にする」という逆転の発想から生まれた介護老人保健施設「おとなの学校」だ。介護老人保健施設は在宅復帰のための施設だが、在宅復帰率は全国平均で約24%と低迷している一方、「おとなの学校」は同60%超と、群を抜いている。

「おとなの学校」は、理事長である大浦敬子氏の経験から生まれた。父が外科医院を営んでいたことから、大浦氏も医者となって経営に携わっていたが、高齢者と接する中で、重度の認知症を患う人の中に、施設を学校だと思っている人がいると気付いた。そこで同氏は、思い切ったことに着手する。「施設を学校にしてみよう」。

通常、介護の現場では、高齢者は受け身になり、生きる意欲を保つことが困難になりがちだ。しかし、「おとなの学校」では、高齢者は「生徒」、介護士は「先生」と、各自が役割を持ち、国語、理科、音楽などの「授業」を通じて存在意義を感じられる。定刻にチャイムが鳴り、懐かしい黒板と机と椅子が置かれた「校舎」の中で、高齢者たちはかつての生徒に戻り、五感で学ぶ楽しさを味わう。明日への希望を持ち、



「おとなの学校」の通学期間は原則3カ月。終了後は卒業式を行なう。期間を明確にすることでメリハリがつき、サービス品質の確保にもつながる。



「おとなの学校」は、東京、埼玉、愛知、大阪、兵庫、広島、熊本（本校以外）、鹿児島にフランチャイズ展開している。

元気を取り戻していく。車いすでゆっくりとしか移動できなかった患者が、少しでも早く教室に行くために、以前では考えられないほど速く移動できるようになった例もある。

この仕組みを広めるべく、大浦会は「おとなの学校」をフランチャイズ事業化。九州の他、関東、中部、関西で合



黒板や椅子、机や椅子が学校のように整備された内観。定刻に懐かしいチャイムが鳴り、気持ちの準備もできる。

計12校が開校している。

「おとなの学校」で最近、注目されているのは「特別授業」だ。音楽に合わせて若手の介護士が格好良く踊り、高齢者も見よう見まねで手や足を動かしながら一緒に踊る。また、30～40年前の流行曲を取り入れるなど、授業内容にも工夫をこらしている。



特別授業の一場面。高齢者による「太鼓部」の演奏と、社員による「よさこい」のダンスとの共演。高齢者と社員が一つの舞台を作り上げた。



熊本の「おとなの学校」本校には、地域に開かれた運動スペースがある。複数のトレーニング機器があり、近隣の高齢者の交流の場ともなっている。

軽妙な語り口とキレのあるダンスで参加者を楽しませる若い介護士たちは、「伝導師」を意味する「エヴァンジェリスト」と呼ばれている。「自分たちが高齢者になった時、「おとなの学校」ではどんな授業を行なっているだろう。現在、流行っている歌が授業で流れて、『懐かしいね』『元気になるね』と話せたら楽しいね」。そんな会話から生まれた、彼ら主導の活動だ。現在、エヴァンジェリストたちは、各地の「おとなの学校」で特別授業する傍ら、講演や大学講義に呼ばれ、新たな介護の在り方、新たな介護職を語る役目も担っている。

社員の誇りの醸成と、介護士の社会的地位の向上に貢献

「おとなの学校」は、介護される側だけでなく、介護する側にもよい影響を及ぼしている。

介護士は「介護している」という意識

ではなく、「学校の先生」として接しており、生徒と共に学び合う。介護士がブレザーを着用していることも、「先生」であることへの誇りと責任の表れだ。

理学療法士でエヴァンジェリストでもある河口明広氏は、「初めは人前で話すことが苦手でも、先生として授業をしているうちに、どうしたらもっと喜んでもらえるだろう、笑顔を増やせるだろう、と考えるようになる。その過程も楽しいんです」と語る。

「おとなの学校」を運営するにあたり、組織内ではさまざまな取り組みが行なわれている。例えば、介護士は自らのあるべき姿を現した校訓や行動基準となる言葉をまとめた「コンパクト理念ブック」を名札裏に携帯している。これを作成する際に中心となったのは平均26歳の若いチームであったというから、理念共感度の高さが伺える。また、全国の「おとなの学校」のスタッフが意見交換する場として社内専用

のネットワークシステムを構築しており、日々の運営上の悩みや業務上の工夫を共有している。さらに、新しく開発・改良したカリキュラムの共有・投票ができるようになっており、一定数以上の票を集めたカリキュラムは「「おとなの学校」公認の授業」として正式に採用される。このように、理念に基づいた質の高いサービスが、どこでも提供できるようになっている。

今後も高齢化が進む中で、「介護士に対する尊敬が高まるような取り組みをするとともに、介護士の数が限られても、支援を受ける側が困らない仕組みを作っていきたい」と大浦氏。同氏は、「自分たちにとってのおもてなしとは何か」という問いにこう答える。「生きる喜びをあふれるくらい持ってもらうこと」。65歳以上の高齢者が25%を超え、超高齢社会となった日本。国の将来も視野に入れた同氏の取り組みに期待が高まっている。

会社概要

- ・法人名：医療法人社団 大浦会
- ・代表者：大浦 敬子 理事長
- ・所在地：熊本県熊本市中央区水前寺4-52-44
- ・設立年月：1977年4月
- ・資本金：43,660,000円

- ・ホームページ：http://www.ourakai.com/
- ・社員数：正規212名、パート・アルバイトなど65名
- ・事業内容：病院、介護老人保健施設、訪問介護、訪問看護、居宅介護支援、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、疾病予防運動施設、通所介護